

文化財
だより
ふるさと再発見

数百年前のタイムカプセル

「古文書」

私たちの祖先によって残さ

れ、目立たないけれど昔を知
る上では重要なものに、古い
文書、つまり「古文書」があ
ります。和紙に達筆な文字で
書かれ、汚れて虫食いの跡があ
ったりしています。その多く
は、江戸時代から明治のはじ
めにかけて書かれた領主文書・
寺社文書・町方文書、さらに
最も多い村方文書などです。

村々では、米を生産するた
めに、一時的にまとまった労
働力を必要とし、水の利用や
肥料となる山野の芝草などを
得るためにも、村人が相互に



小島和昭氏(土岐町高山)所蔵文書

依存し合って成り立つ村落共
同体が生まれました。村の主
だった人が、村役人(庄屋、
百姓代、組頭)となって村を
まとめ、年貢の納入について
は、一括して請け負う村請負
制が行われていました。領主
は必ずしも領地に在住せず、
その間の連絡は、村役人を通
して文書で行われました。法
制的なものは、役人が村人を
集めて読み聞かせたり、書写
して回覧しました。村同士
の取り決め、用水や山境に
関する文書を交わすなど、行
政の末端機能も果たしていま
した。旅行や結婚で村を離れ
るとき、町への奉公などにも
一定の証明書が必要でした。
農業経営や経済活動に関する
証文もたくさん作られ、保管
されました。
古文書は、昔の生活を今に
伝える、いわばタイムカプセ
ルのようなものです。

教育夢発信

土岐津小学校
『みんな仲よく、
楽しい学校を目指して』

土岐津小学校では、「寂しい思い
をする子どもが一人もない学校を
つくりたい」「どこでも誰にでもあ
いさつできる子どもを育てます」な
どを目指して取り組んでいます。

今年度は、文部科学省から「人権
教育推進校」の指定を受け、昨年十
二月二日に研究発表会を開催しまし
た。

発表会では、岐阜県内外を含め、
二百人以上の参観者があり、本校の
取り組みについて、高い評価をいた
だきました。

本校では、特に、国際理解を目的
として外国の方々を積極的に招待し、
全校の子どもたちとの「ABCふれ
あい集会」を開いたり、六年生を中
心とした「国際文化交流会」を行っ



たりしています。

今年度は、中国・ミャンマー・イ
ンドネシア・リビア・台湾・バング
ラデシュ・シリア・ネパール・ケニ
ア・インド・エジプト・アメリカ・
イギリスの十三カ国の留学生(岐阜
大学)の方に来ていただきました。
昨年十一月の交流会では、七カ国
九人の留学生に来校していただき、
全校の子どもたちとの楽しい交流集
会や、六年生と自国の食・音楽・遊
びなどを紹介し合い、外国の文化を
楽しく学ぶことができました。

